

外来野生動物を知って農林業文化を守る

挨拶

大河内 勇（森林総合研究所）

第Ⅰ部【基調講演】

アライグマ・ヌートリア・ハクビシンの試験研究における最新の取り組み
小泉 透（森林総合研究所）

外来野生動物による農林業対策における基本的な考え方
羽山伸一（日本獣医生命科学大学）

第Ⅱ部【外来動物インパクトの特性】

アライグマの個体群動態 ～なぜ減らせないアライグマ
浅野 玄（岐阜大学）

アライグマ被害に対応するためのモニタリング手法 生息確認と密度の評価
岡野美佐夫（（株）野生動物保護管理事務所）

ハクビシンの繁殖生物学的パラメータ ～明らかになった繁殖実態
加藤卓也（日本獣医生命科学大学）

ハクビシンの年間の行動様式 ～行動域と繁殖行動の変化
古谷益朗（埼玉県農林総合研究センター）

ハクビシンの行動特性 ～その知られざるポテンシャル
江口祐輔（農業・食品産業技術総合研究機構）

ヌートリアの分布と被害予測 ～被害が深刻化しやすい要因とは？
坂田宏志・江草佐和子（兵庫県立大学）

第Ⅲ部【農地被害軽減のための技術開発】

アライグマによる農業被害防止技術の開発 ～効率的な防護技術
阿部 豪・赤松里香・鈴木 透（NPO 法人 EnVision 環境管理事務所）

ハクビシンによる農地被害防止技術の開発 ～柵でみかんを護れ
竹内正彦（農業・食品産業技術総合研究機構）

ヌートリアによる農業被害防止技術の開発 ～地域参加型の被害対策
立澤史郎（北海道大学）

【日時】2009年2月11日（水）午前10時00分～午後4時30分

【場所】日本獣医生命科学大学付属動物医療センター5階 C502教室

東京都武蔵野市境南町1-7-1

JR中央線「武蔵境」駅南口より徒歩2分



参加無料。定員（150名）があります。事前登録をお願いします。
登録は、郵送、ファクス、e-mail のいずれかにてお申し込みください。

〒305-8687 つくば市松の里1 森林総合研究所野生動物研究領域

ファクス：029-873-1543

e-mail: gairai2009@ffpri.affrc.go.jp

詳しくは、森林総合研究所ホームページ「イベント・セミナー」をご覧ください。

<http://ss.ffpri.affrc.go.jp/index-j.html>

制作・イラスト アトリエたぬき